※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　工業科（建築系列）

教科	工業	科目	建築構造	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	建築構造（７実教　工714）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築構造では、木造、鉄筋コンクリート造、鋼構造などそれぞれの構造の長所や短所、工法、部材の働きや素材について理解を深めます。頻発する地震や火災などの自然災害から人命を守る強固な建物を作ること。１００年持つ耐久性のある家づくりで持続可能な社会に貢献するなど技術者として実社会の課題に向き合うために必要な素地や問題意識を高めていきましょう。

2　学習の到達目標

〇建築材料の特徴及び各種構造形式、接合方法等についての知識・技術を身につける。
〇各種構造の相違点を説明する力や、発生する諸問題に対し思考し判断する力を養う。
〇建築構造の知識・技術などの習得に前向きに取り組む姿勢を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築構造に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、現代社会における工業の意義や役割を理解するとともに、その技術を適切に活用する力を身につけている	建築構造に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	自主的･継続的な学習を通じ、技術に関する探究的・創造的な能力を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	鉄筋コンクリート構造	１．鉄筋コンクリート構造の特徴 ２．構造形式 ３．鉄筋とコンクリート ４．駆体 ５．防水 ６．仕上げ ７．壁式構造 ８．プレストレストコンクリート	a:　鉄筋コンクリート構造に関する各種の構法・材料に関する基礎的な知識と技術を身につけ、建築構造技術の意義や役割を理解しようとするとともに、技能を活用する力を身につけようとしている。 b:　鉄筋コンクリート構造に関する基礎的な知識と技術をもとに実際の構造物について考え、また諸問題を発見し、その解決を目指して自ら思考を深め、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけようとしている。 c:　自主的・継続的な学習を通じ、技術に関する探究的・創造的な能力を養おうとしている。	学習状況の観察 演習問題プリント 提出作品の評価 定期考査	学習状況の観察 演習問題プリント 提出作品の評価 定期考査	受講態度の観察
前期	木構造	１．木材 ２．木材の接合 ３．基礎 ４．軸組 ５．小屋組 ６．床組 ７．階段 ８．開口部 ９．外部仕上げ １０．内部仕上げ １１．木造枠組壁構法	a:　木構造に関する各種の構法・材料に関する基礎的な知識と技術を身につけ、建築構造技術の意義や役割を理解しようとするとともに、技能を活用する力を身につけようとしている。 b:　木構造に関する基礎的な知識と技術をもとに実際の構造物について考え、また諸問題を発見し、その解決を目指して自ら思考を深め、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけようとしている。 c:　自主的・継続的な学習を通じ、技術に関する探究的・創造的な能力を養おうとしている。	学習状況の観察 演習問題プリント 提出作品の評価 定期考査	学習状況の観察 演習問題プリント 提出作品の評価 定期考査	受講態度の観察

※令和４年度以降入学生用

前期	鋼構造	１．鋼構造の特徴 ２．構造形式 ３．鋼と鋼材 ４．鋼材の接合 ５．骨組 ６．仕上げ ７．その他の鋼構造	a: 鋼構造に関する各種の構法・材料に関する基礎的な知識と技術を身につけ、建築構造技術の意義や役割を理解しようとするとともに、技能を活用する力を身につけようとしている。 b: 鋼構造に関する基礎的な知識と技術をもとに実際の構造物について考え、また諸問題を発見し、その解決を目指して自ら思考を深め、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけようとしている。 c: 自主的・継続的な学習を通じ、技術に関する探究的・創造的な能力を養おうとしている。	学習状況の観察 演習問題 プリント 提出作品の評価 定期考査	学習状況の観察 演習問題 プリント 提出作品の評価 定期考査	受講態度の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度